

株主通信

第124期 決算

2015年4月1日から2016年3月31日まで

証券コード:6448

At
your
side.



よりよい地球環境を、あなたとともに。
www.brotherearth.com

【お知らせ】

今後、株主通信(ハガキ)のご送付は取りやめ、年2回の株主通信(冊子)の発行とさせていただきます。
会社情報をわかりやすくお伝えするために、紙面のさらなる充実に取り組んでまいりますので、
引き続き、弊社への更なるご支援をお願い申し上げます。

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第124期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2015年度は、新興国経済の景気は減速基調となり、日本での景気は足踏み状態が続いたものの、米国や欧州では景気の回復傾向が見られました。

このような状況の中、ブラザーグループの売上高は、産業機器の大幅な減収などのマイナス要因はあるものの、ドミノプリンティングサイエンス(以下、ドミノ社)を連結子会社化した効果などにより、過去最高の売上高を達成しました。営業利益、経常利益は、為替およびドミノ社の連結化に伴う影響もあり減益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前年に計上した特別利益がなくなったことなどにより減益となりました。

2016年度は、「変革への挑戦」をテーマとした新中期戦略「CS B2018」の初年度として、グループ全体で「事業・業務・人財」の3つの変革にチャレンジしてまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後も更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

小池利和

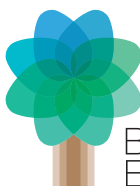


At your side.

いつもお客様第一に考え、優れた価値を創造し、
迅速にお届けしたい。

“At your side.”という言葉には、
そんなブラザーグループの思いが込められています。

この“At your side.”の精神のもと、
ブラザーグループは、
地球環境に配慮した取り組みを行うとともに、
世界中のお客様が実現したい新しいライフスタイルや
ワークスタイルを、
製品やサービスを通じて応援していきます。



Brother
Earth

よりよい地球環境を、あなたとともに。
www.brotherearth.com

目次

01 株主の皆さまへ

02 目次

03 特集

中期戦略「CS B2018」がスタート

07 連結決算の概況

2015年度の業績概況

2016年度の業績見通し

配当金について

国際財務報告基準(IFRS)を任意適用

10 主要事業セグメントの営業概況

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

パーソナル・アンド・ホーム事業

マシナリー・アンド・ソリューション事業

ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

工業用部品事業

ドミノ事業

15 トピックス

5年を経過した東日本大震災 継続的な復興支援活動

16 連結経営指標

17 連結財務諸表 1

貸借対照表(要旨)

19 連結財務諸表 2

損益計算書(要旨)

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

株式資本等変動計算書(要旨)

21 株式の状況

22 会社の概要

※この株主通信に記載の業績見通しは、作成時点で入手可能な情報に基づく当社判断による見通しであり、さまざまなリスクや不確実な要素を含んでいます。

実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果がありうることをご承知おきください。

※この株主通信に記載の表示金額は、億円未満を四捨五入、百万円未満を切り捨てて表示しています。また、各種比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

特集

ブラザーの中期戦略 「CS B2018」

“Transform for the Future ～変革への挑戦～” をテーマに構造改革にチャレンジします

「CS B2018」策定の背景

ブラザーグループでは、「グローバルビジョン21」実現に向けたロードマップとして、中期戦略を策定しています。

2011年～2015年の中期戦略では、プリンティング事業を主軸として各事業の成長に挑戦し、積極的なM&Aも功を奏して売上高はほぼ目標値を達成しました。しかし、モバイル端末の普及に伴う印刷機会の減少など、プリンティング市場の環境変化が加速する中、ブラザーが目指す“未来永劫に繁栄する会社”を実現するためには、収益を持続的に生み出すことのできる筋肉質な企業への転換が必要です。

このような認識のもとブラザーグループは、2016年度から2018年度までを対象とした中期戦略「CS B2018」を策定しました。3つの変革にチャレンジし、プリンティング事業中心の体制から、今後の成長が見込まれる産業用領域*での展開や新規事業の開発に重点を置き、複合事業企業を目指します。

*…マシナリー事業(工業用マシン、産業機器、工業用部品)、ドミノ事業など



2018年度収益目標

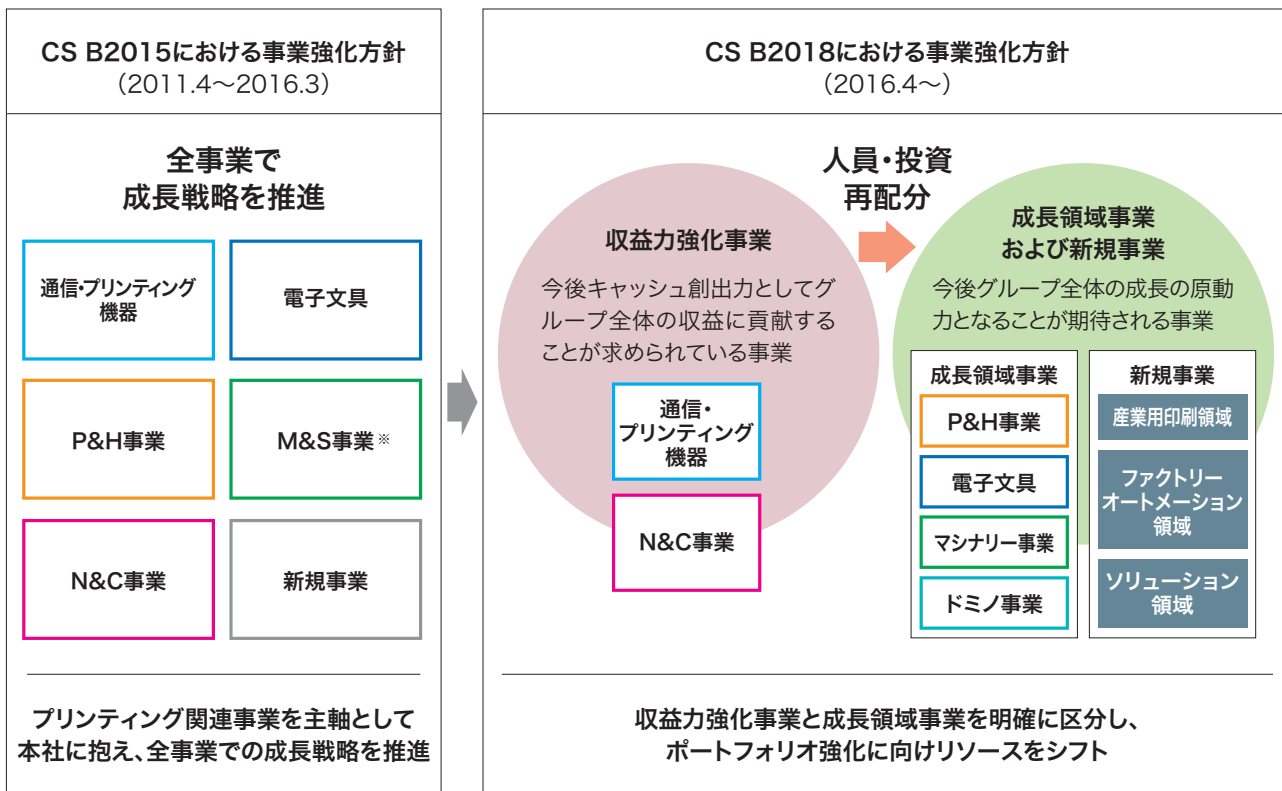
売上収益	7,500 億円
営業利益	600 億円
営業利益率	8.0%

※為替前提: 1 USD=115円、1 EUR=130円
※国際財務報告基準(IFRS)適用

3つの変革

1. 事業の変革

「プリンティング中心の事業構成から、複合事業企業を目指したポートフォリオ経営への事業構成の変革」



※マシナリー・アンド・ソリューション事業

2. 業務の変革

「限られた資源の最大活用と、徹底的な効率化を実現し、その資財で未来に向けた顧客価値創出活動を増強」

3. 人財の変革

「ブラザーDNAの伝承に根差した、未来永劫の繁栄を牽引する次世代人財育成と、グループ人財活用の最大化」

各事業の方針

プリンティング・アンド・ソリューションズ(P&S)事業	通信・プリンティング機器 (プリンター、複合機、ファクス、スキャナーなど)	全社の成長を牽引する基軸事業から ポートフォリオ強化を支える収益力強化事業への転換
	電子文具 (ラベルライター、ラベルプリンターなど)	ホーム・オフィス領域でのグローバルNo.1を堅持し利益水準を 維持しつつも、さらなる飛躍に向けソリューション領域へ本格進出
パーソナル・アンド・ホーム(P&H)事業	家庭用ミシン、 カッティングマシンなど	高級機から低級機までの圧倒的なグローバルNo.1の 維持と新たな「作る楽しみ」への挑戦
マシナリー事業	工業用ミシン (工業用ミシン、ガーメントプリンター)	工業用ミシン事業から縫製ソリューション事業への挑戦
	産業機器 (工作機械)	自動車関連市場で、事業基盤強化による40番市場*の 獲得と周辺領域への挑戦
	工業用部品 (減速機・歯車)	構造改革を進め収益力を回復し産業用領域事業強化に貢献
ネットワーク・アンド・コンテンツ(N&C)事業	通信カラオケシステム、カラオケ店舗運営、 コンテンツサービスなど	キャッシュ創出力強化に向けた構造改革の完遂
ドミノ事業	コーディング・マーキング機器、 デジタル印刷機など	次世代の成長の柱としてシナジーを最大化

※今までのブラザーの機械では加工できなかった大型部品の加工市場

財務方針

基本方針

経営戦略にのっとり、変革に向けた事業ポートフォリオ強化に沿った財務施策を推進

投資方針

効率的かつ選択的に研究開発、設備投資を実施／M&Aは柔軟に対応

ROE

「CS B2018」の最終年度には、9%+ α の実現を目指す

株主還元

従来通り、原則として連結配当性向30%を目安に、安定的な配当を実施

新規事業

既存事業と連続性があり3年以内に立ち上がりが見込める新規領域

〈産業用印刷領域〉

ブラザー起点の産業用印刷の技術・製品ベースに、ドミノ社とのシナジーを生かしながら、産業用印刷機器を開発

〈ファクトリーオートメーション領域〉

工業用マシン、産業機器、工業用部品の各事業の自社技術のコラボレーションとIoTなどの活用で、従来の延長ではない事業の立ち上げ

〈ソリューション領域〉

OAソリューション：複合機・スキャナー・モバイルプリンターなどオフィスにおけるトータルソリューションの提供
特殊用途向けソリューション：ラベルライター、ラベルプリンターによる小売業や製造業、物流業におけるソリューションの展開

〈クラフト事業〉

P&H事業において既に立ち上がっているクラフト市場向けの製品のラインアップを拡大



連結決算の概況

2015年度の業績概況

2015年度のブラザーグループの売上高は、産業機器の減収などのマイナス要因はあるものの、新興国向けのインクジェット複合機や、通信カラオケ機器などの新製品の投入効果やドミノ社を連結子会社化した効果などにより、前年度比5.5%増の7,458億8千8百万円となり、過去最高の売上となりました。営業利益は、為替やドミノ社の連結化に伴うマイナス影響もあり、前年度比17.8%減の472億7千6百万円となりました。経常利益は、営業利益の減益の影響などに

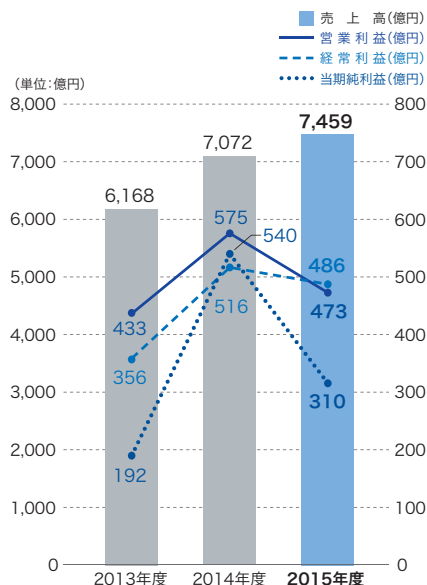
より、前年度比5.7%減の486億1千1百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、上記要因に加え、前年に計上した賃貸用不動産の売却に伴う特別利益がなくなったことなどにより、前年度比42.5%減の310億1千7百万円となりました。

(単位: 億円)

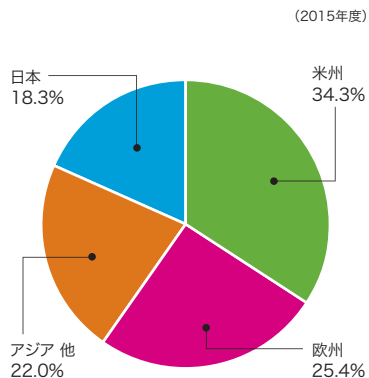
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2015年度連結業績	7,459	473	486	310

※2015年度連結業績における平均為替レートは次の通りです。
1米ドル=120.16円、1ユーロ=132.36円

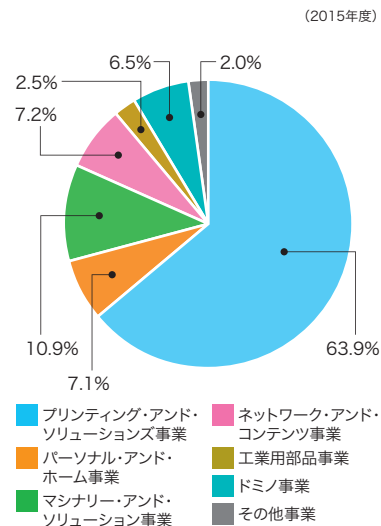
業績の推移



地域別売上高の構成比



事業セグメント別売上高の構成比



連結決算の概況

2016年度の業績見通し

2016年度につきましては、中国をはじめとする新興国においては、景気減速の懸念が残るものの、米国や欧州などの先進国経済においては、景気は底堅く推移することが見込まれます。一方、当社においては、主力のプリンティング事業において、印字機会の減少という構造的な変化が続いていることや、産業機器のIT関連顧客の需要縮小など、当社を取り巻く事業環境は難しい状況が続くことが想定されます。

このような環境の中、ブラザーグループは、新中期戦略「CS B2018」を、本年4月よりスタートいたしました。この新中期戦略では、グループ全体で「事業・業務・人材」の3つの変革にチャレンジしていくとともに、現在のプリンティング事業中心の体制から、今後の成長が見込まれる産業用領域や新規事業に重点を置いた、複合事業企業への転換を目指してまいります。

これらを踏まえ、2016年度の連結業績見通しは、売上収益は6,575億円、営業利益は450億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は315億円を見込んでいます。

(単位:億円)

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
2016年度 連結業績見通し 国際財務報告基準(IFRS)	6,575	450	315

※2016年度通期業績見通しは次の為替レートを前提としております。
1米ドル=110円、1ユーロ=125円

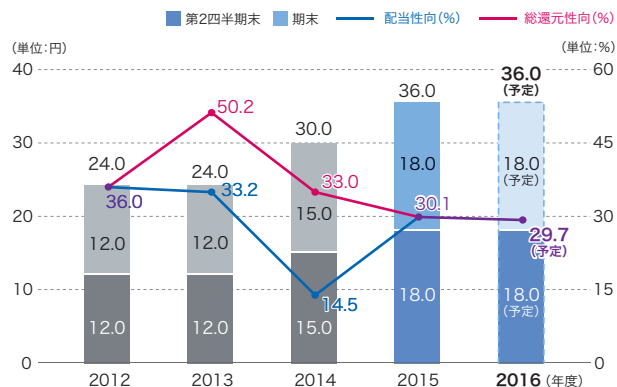
配当金について

株主の皆さまへの配当金につきましては、将来の成長のための投資に必要な内部留保の確保やキャッシュ・フローの状況などを勘案しつつ、経営成績に応じた積極的な利益還元を実施することを基本方針とし、連結配当性向30%程度を目標としております。

2015年度の配当金につきましては、予定どおり期末配当を1株当たり18円とし、実施済みの第2四半期末配当とあわせ、前年から6円増配となる、年間で36円とさせていただきます。

2016年度につきましては、継続的に安定した配当を実施することを重視し、前年と同じく1株当たり年間36円の配当を予定しております。

1株当たり配当金

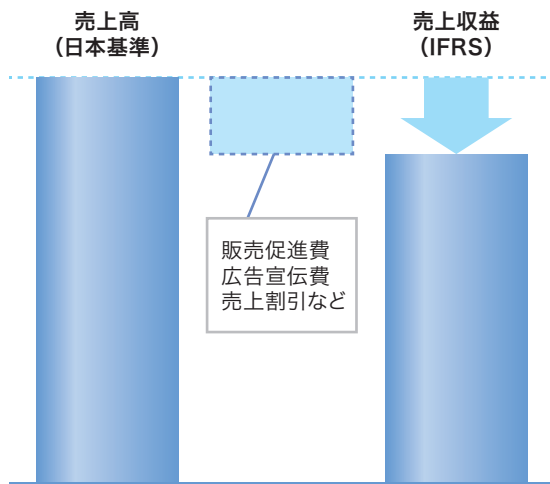


国際財務報告基準(IFRS)を任意適用

当社グループは、2017年3月期第1四半期決算から、国際財務報告基準(IFRS)を適用いたします。

1. 売上の計上方法

複合機などの販売に関連する販売促進費、広告宣伝費や、売上割引などの大半を、実質的な値引きとみなし、売上から控除します。

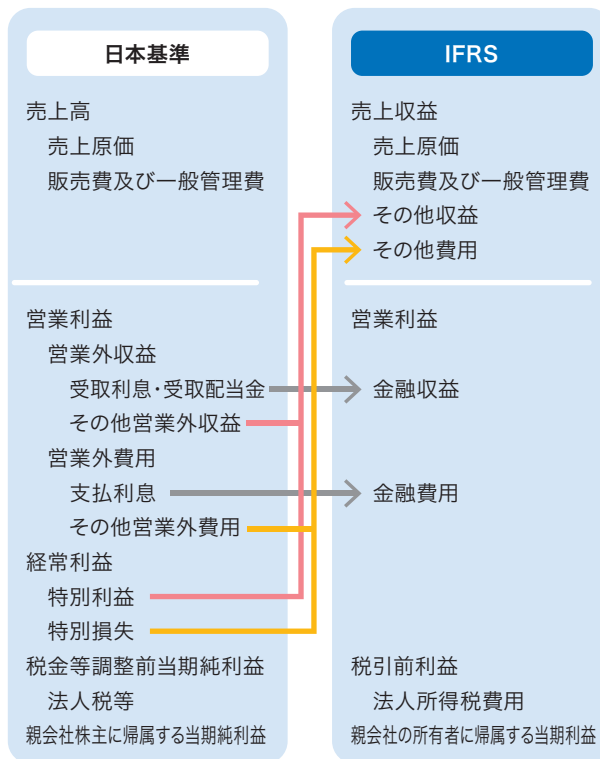


2. のれんの会計処理

日本基準では定額償却していましたが、IFRSではのれんの償却は行いません。今後は、毎期減損テストを実施し、必要に応じて減損処理を行っていくこととなります。

3. 表示科目の変更

日本基準で「営業外収益」、「営業外費用」、「特別利益」、「特別損失」として表示していた科目のうち、金融取引に関連する項目以外は、IFRSでは「営業利益」に含まれます。



主要事業セグメントの営業概況

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

事業紹介

プリンティング技術を追求し、新しいワークスタイルを提案します。コンパクト性を追求したプリンターのほか、1台にプリンター・ファクス・コピー・スキャナーなどの機能を搭載した複合機、使いやすさにこだわったラベルライターがあります。これらの情報通信機器でSOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)やSMB*などで幅広いニーズにお応えします。

*SMB: 小規模な事務所や中小企業、複数拠点に分散する企業のオフィスなど。

主要製品等

プリンター、複合機、電子文具、スキャナー

売上高

4,767億6千7百万円

●通信・プリンティング機器

プリンティング市場の成熟化や新興国経済の減速の影響などが重なり、厳しい事業環境となったものの、カラーレーザー複合機の販売が堅調に推移したことや、インクジェット複合機のハイタンクモデルの投入などの効果により、ほぼ前年並み(前年度比0.1%減)の4,214億9千4百万円となりました。

●電子文具

主に欧米において需要が堅調に推移したことなどにより、前年度比5.4%増の552億7千3百万円となりました。

営業利益

341億8千4百万円

主にユーロに対する為替のマイナス影響、製品保証引当金の追加計上の影響などから、前年度比4.3%減の341億8千4百万円となりました。

製品紹介

モノクロレーザー ジャスティオ MFC-L6900DW

耐久性が従来機比約2倍となった60万枚モデル。高耐久ながら低ランニングコストを維持し、印刷機会の多いSMB市場でも安心して使っていただけます。多種多様なオプションレイも用意し、用紙補給の手間を軽減します。



ドキュメントスキャナー ジャスティオ ADS-3600W

本体性能を強化したデスクトップ型スキャナーの新品。高速読取を実現しつつ、さらに安定した原稿搬送が可能になりました。カラータッチパネル搭載で、PC無しで直接スキャンしたデータを各種クラウドサービスにアップできます。

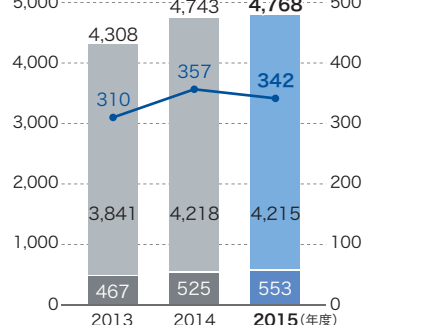


◎売上高／営業利益

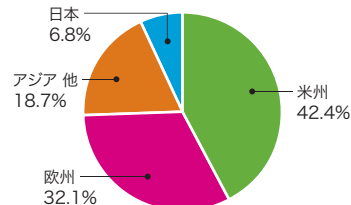
■売上高:通信・プリンティング機器

■売上高:電子文具

— 営業利益



◎地域別売上高の構成比(2015年度)



主要事業セグメントの営業概況

パーソナル・アンド・ホーム事業

事業紹介

家庭用ミシンを中心としたソーイング関連の製品とサービスで、手づくりの楽しさを提案します。また高級刺しゅうミシンにおいては、ITを活用したサービスを通じて手づくりの新しい可能性を広げます。加えて世界で初めてスキャナー機能を搭載したカッティングマシンは、クラフト市場において新たな価値を創造しています。

主要製品等

家庭用ミシン、カッティングマシン

売上高

527億9千7百万円

景気後退が続くロシアでの売上減の影響を受けたものの、米州・西欧において、中高級機が堅調に推移したことに加え、アジア地域での販売拡大の効果もあり、前年度比2.6%増の527億9千7百万円となりました。

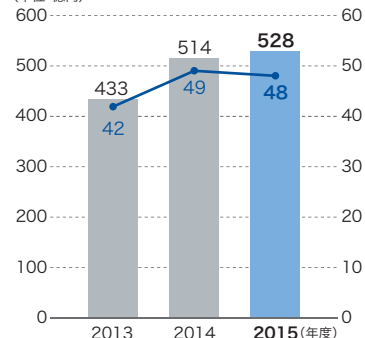
営業利益

48億4千6百万円

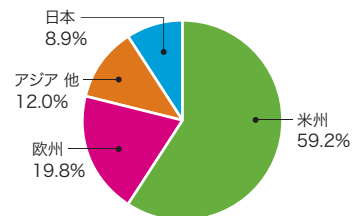
ロシアの景気影響や、モデル構成の変化などの影響はあったものの、ほぼ前年並み(前年度比1.7%減)の48億4千6百万円となりました。

◎売上高／営業利益

(単位:億円)



◎地域別売上高の構成比(2015年度)



製品紹介

家庭用ミシン 「コンパル900」

かつての電子ミシンの主力ブランド「コンパル」が、中・上級者向けコンピューターミシンのブランドとして復活しました。本モデルは縫いやすさ、使いやすさにごこだわり、美しい縫製をかなえるための機能が満載です。



カッティングマシン 「ScanNCut(スキャンカット)」 CM650W

スキャナーを搭載した世界初*のカッティングマシンの新商品。好きな模様や手描きのイラストなどを読み取って、独自の切り抜きデータを作成し、布や紙を思い通りの形にカットできます。無線LANを搭載しPCやタブレット端末との接続性が向上しました。



*2013年12月5日時点。ブラザー調べ。家庭用カッティングマシンにおいて。

マシナリー・アンド・ソリューション事業

事業紹介

使いやすさ、高品質な縫製、省エネルギーを実現した工業用ミシンや、自動車や二輪車、スマートフォンなどの部品加工業界に最適な工作機械の提案と密着したサポートを通じて、お客様の生産性向上と新たな価値創出をお手伝いしています。

主要製品等

工業用ミシン、ガーメントプリンター、工作機械

売上高

814億7百万円

●工業用ミシン

本縫いミシンの新モデルの投入効果などにより中国の売上が大きく回復したことや、欧米においてガーメントプリンターが堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、前年度比12.7%増の307億5千8百万円となりました。

●産業機器

第1四半期はIT関連顧客向けの販売が好調に推移したものの、第2四半期以降、IT関連顧客の設備投資需要の縮小や、中国の景気減速懸念の影響などで受注が減少した影響により、前年度比30.9%減の506億4千8百万円となりました。

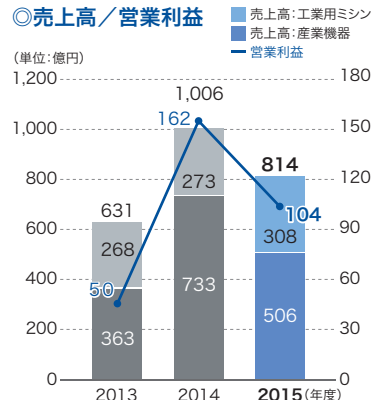
営業利益

103億5千6百万円

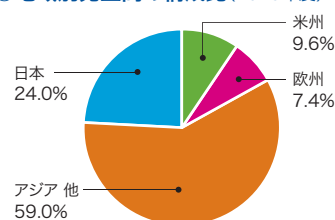
工業用ミシンは新製品の好調な推移に加え、ガーメントプリンターが堅調に拡大したことなどの効果により利益が拡大したものの、IT関連顧客の設備投資需要が縮小した産業機器の減益影響が大きく、前年度比36.1%減の103億5千6百万円となりました。

◎売上高／営業利益

(単位:億円)



◎地域別売上高の構成比(2015年度)



製品紹介

電子送り本縫ダイレクトドライブ自動糸切りミシン 「NEXIO(ネクシオ) S-7300A」

工業用1本針本縫いミシンにおいて、世界で初めて布送り機構を電子化*。余分な糸処理作業を低減し、布送り変更時のメカ調整が不要で多様な素材に対応でき、縫製工場の生産性向上に貢献します。



*2015年5月11日現在。
ブラザー調べ。

コンパクトマシニングセンタ 「SPEEDIO R650X1」

ブラザー独自の高速2面パレットチェンジャー*「QTテーブル」を搭載し、高生産性を発揮するとともに、「QTテーブル」搭載機としては最大の加工エリアを持つことにより、これまで搭載できなかった大型の部品や治具に対応できるようになりました。



*パレット(加工対象物を載せるテーブル)を複数装備し、順次パレットを入れ替える装置。

主要事業セグメントの営業概況

ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

事業紹介

業務用通信カラオケシステムの提供を行うとともに、通信カラオケで培ったコンテンツ・配信技術を活用したサービスや製品を提供することで、新たな顧客価値を追求しています。

主要製品等

業務用通信カラオケシステム、コンテンツサービス

売上高

536億9千7百万円

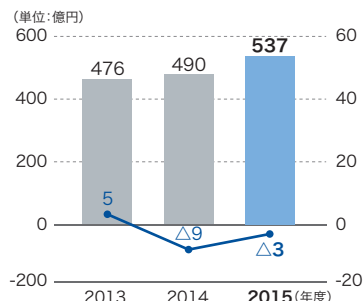
3年ぶりとなる通信カラオケ機器の新モデルを発売した効果に加え、(株) ティックエンタテインメント及び(株) ティックミュージックを連結子会社化したこともあり、前年度比9.7%増の536億9千7百万円となりました。

営業損失

△2億7千7百万円

営業損失とはなりませんが、新モデルの発売効果や、研究開発費等の減少により、損益は改善し、営業損失2億7千7百万円となりました。

◎売上高／営業利益



※ネットワーク・アンド・コンテンツ事業の売上は、日本が売上の大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

工業用部品事業

事業紹介

減速機事業において、豊富な製品バリエーションや特注品対応力を持ち、歯車事業においては、各種小型歯車の生産力や一貫生産能力などを強みとし、国内において高いマーケットシェアを維持しています。

主要製品等

減速機、歯車

売上高

183億1千4百万円

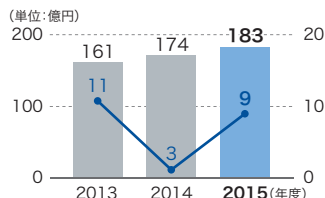
アジアの一部地域における商流変更の影響などにより、前年度比5.0%増の183億1千4百万円となりました。

営業利益

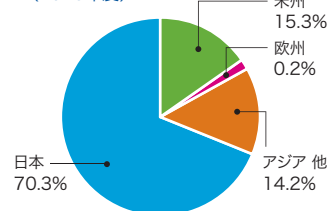
8億8千万円

増収にともない、前年度比207.0%増の8億8千万円となりました。

◎売上高／営業利益



◎地域別売上高の構成比 (2015年度)



ドミノ事業

事業紹介

ペットボトル、缶、食品の包装などに、賞味期限、ロット番号などを印字する印刷機、およびその消耗品を提供するコーディング・マーキング事業においては、世界のリーディングカンパニーです。また、インクジェット技術を用いたデジタル印刷機およびその消耗品を提供するデジタル印刷事業においては、商品パッケージの多種少量化や短納期化の要請に伴って、市場の成長が見込まれています。

主要製品等

産業用インクジェットプリンター、デジタル印刷機

売上高

483億1千2百万円

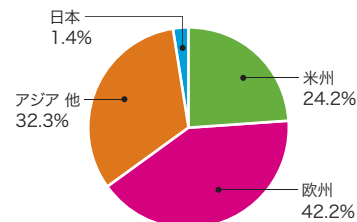
営業損失

△20億2千4百万円

ドミノ社及びその子会社の業績は安定しているものの、連結子会社化によるのれん償却費や無形固定資産の償却費の負担もあり、営業損失20億2千4百万円となりました。

*平成27年7月1日以降に計上されるドミノ社及びその子会社に関する損益を、ドミノ事業セグメントとして計上しております。

◎地域別売上高の構成比
(2015年度)



製品紹介

産業用 インクジェットプリンター 「A320i/A420i」

工場の生産ラインにおいて、製造年月日やロット番号などを印字する産業用インクジェットプリンター。信頼性と高品質印字で定評のある従来機からインクシステムを改良し、簡単なメンテナンスでランニングコストの大幅削減を実現しました。



デジタル印刷機 「N610i」

最大7色で効率的に商品パッケージ用のラベルなどの印刷ができる産業用デジタルラベル印刷機。最速で1分間に75メートルの高速印刷が可能です。



トピックス 5年を経過した東日本大震災 継続的な復興支援活動

「絆ファンド」で七ヶ浜町「きずな図書室」を支援

2012年12月から継続しているグループ従業員からの寄付金「絆ファンド」を、宮城県七ヶ浜町のみなさんに震災復興の財源として活用していただいています。これまでもこの「絆ファンド」は、「きずな公園」の建設や公園への遊具設置、七ヶ浜町ミュージカル劇団の名古屋公演、ボランティアバスツアーの補助、交流イベントの実施、仮設住宅の風除室補修などための費用として使われてきました。

震災によって損壊した図書館の再建がようやく実現し、「絆ファンド」とブラザー工業からの寄付が、図書室の児童書コーナーの設備費用に充てられました。2016年2月の「きずな図書室お披露目会」には社長の小池も出席し、地元の方と交流を深めました。

郡山市や南三陸町、七ヶ浜町でのミシンを通じたつながり

震災とそれともなう原発事故で、障がいがありながら避難生活を強いられている方々の支援のため設立された福島県郡山市「ミシンの学校」や、津波の被害が大きかった宮城県の南三陸町、七ヶ浜町の「ミシン工房」、「きずな工房」では、ブラザーのミシンがコミュニケーションツールとなり、住民の皆さんのつながりに役立っています。

東京でも東北復興応援マルシェを開催

東北の特産品の購入を通じて復興を応援する「マルシェ」を、2012年度よりブラザーグループの各拠点で開催しています。2016年2月には初めてグループ会社エクシングの東京本社でも開催し、開始と同時に多くの従業員が訪れました。昼休みに約300人が特産品を購入し、東北との絆も一層強まりました。



▲七ヶ浜町長へ目録を贈呈する社長の小池



▲完成した「きずな図書室」の児童書コーナー



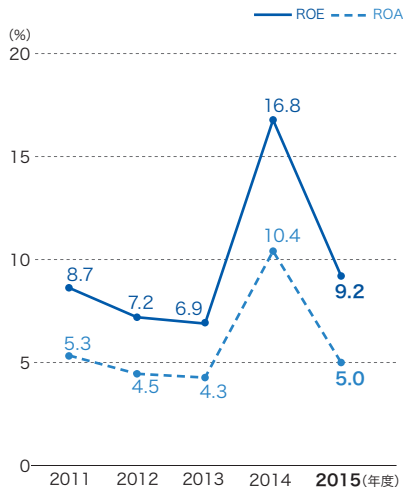
▲ミシンの使い方を指導する従業員



▲多くの従業員でにぎわう売り場

連結経営指標

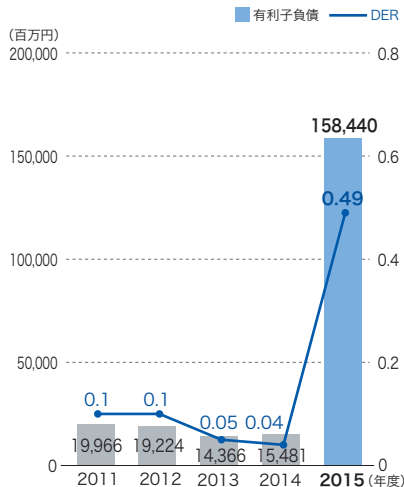
ROE・ROA



※ROE=当期純利益/自己資本 (期首・期末平均)

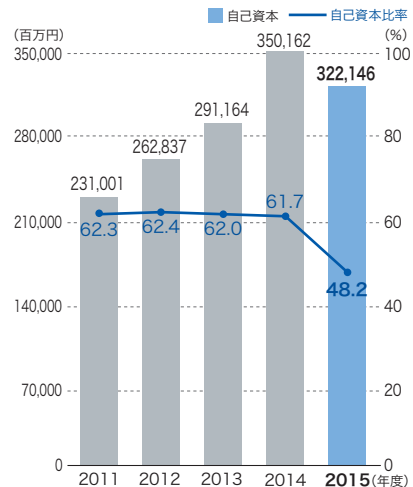
※ROA=当期純利益/総資産 (期首・期末平均)

有利子負債・DER



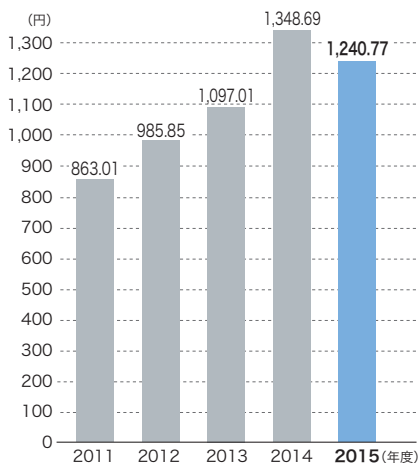
※DER=有利子負債/自己資本

自己資本・自己資本比率

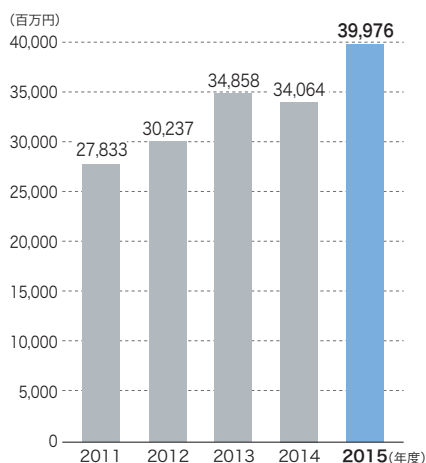


※自己資本比率=自己資本/総資産

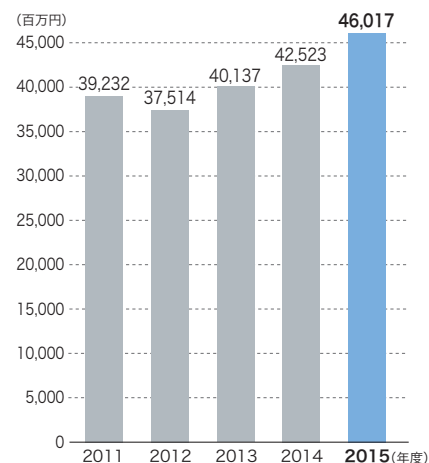
1株当たり自己資本



設備投資額



研究開発費



連結財務諸表 1

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	2015年度 (2016年3月31日現在)	2014年度 (2015年3月31日現在)	増 減
《資産の部》			
流動資産	340,174	371,731	△ 31,557
現金及び預金	69,671	107,949	△ 38,277
受取手形及び売掛金	100,029	101,240	△ 1,210
たな卸資産	126,871	122,425	4,445
その他	43,601	40,115	3,486
固定資産	327,636	195,499	132,137
有形固定資産	123,071	112,143	10,927
建物及び構築物	52,710	52,109	601
機械装置及び運搬具	24,010	21,969	2,040
工具、器具及び備品	19,564	17,457	2,107
土地	18,674	14,741	3,932
その他	8,111	5,866	2,245
無形固定資産	164,617	20,660	143,956
投資その他の資産	39,947	62,694	△ 22,746
資産合計	667,811	567,230	100,580

資産合計

ドミノ社買収によるのれん等の増加により、前期末に比べ1,006億円の増加となりました。

(単位:百万円)

科目	2015年度 (2016年3月31日現在)	2014年度 (2015年3月31日現在)	増減
《負債の部》			
流動負債	138,517	153,389	△ 14,872
支払手形及び買掛金	38,046	44,712	△ 6,665
短期有利子負債	19,539	10,776	8,763
未払法人税等	3,123	14,923	△ 11,800
その他	77,807	82,977	△ 5,170
固定負債	189,570	46,556	143,014
長期有利子負債	138,900	4,705	134,195
その他	50,670	41,850	8,819
負債合計	328,088	199,945	128,142
《純資産の部》			
株主資本	349,011	326,573	22,437
資本金	19,209	19,209	—
資本剰余金	16,696	16,695	0
利益剰余金	337,330	314,892	22,438
自己株式	△ 24,225	△ 24,224	0
その他の包括利益累計額	△ 26,864	23,589	△ 50,454
その他有価証券評価差額金	3,922	7,099	△ 3,177
繰延ヘッジ損益	△ 192	△ 447	255
為替換算調整勘定	△ 22,390	24,021	△ 46,412
退職給付に係る調整累計額	△ 8,204	△ 7,084	△ 1,119
新株予約権	736	615	120
非支配株主持分	16,839	16,505	334
純資産合計	339,722	367,284	△ 27,561
負債及び純資産合計	667,811	567,230	100,580

● 負債合計

ドミノ社買収のための資金調達による有利子負債の増加などにより、前期末に比べ1,281億円の増加となりました。

● 自己資本比率

利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定の減少と資産合計の増加により、自己資本比率は前期末の61.7%より13.5ポイント減少し48.2%となりました。

連結財務諸表 2

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2015年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	2014年度 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	増減
売上高	745,888	707,237	38,650
売上原価	400,328	389,831	10,497
売上総利益	345,559	317,406	28,153
販売費及び一般管理費	298,282	259,864	38,418
営業利益	47,276	57,541	△ 10,264
営業外収益	7,594	2,922	4,672
営業外費用	6,260	8,905	△ 2,645
経常利益	48,611	51,557	△ 2,946
特別利益	3,927	16,928	△ 13,000
特別損失	3,192	3,087	105
税金等調整前当期純利益	49,346	65,399	△ 16,052
法人税等	17,900	11,629	6,270
非支配株主に帰属する当期純利益	428	△ 200	628
親会社株主に帰属する当期純利益	31,017	53,969	△ 22,952

売上高

産業機器で大幅な減収となったものの、買収したドミノグループの売上が加わったこともあり、増収となりました。

営業利益

主にユーロ安による為替のマイナス影響や、ドミノ社買収によるのれん償却費の負担などにより、減益となりました。

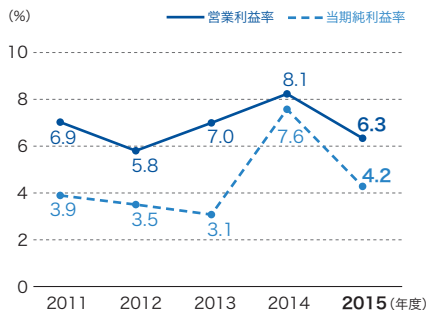
経常利益

為替予約に係る損益が大きく改善したものの、営業減益の影響を吸収できず、減益となりました。

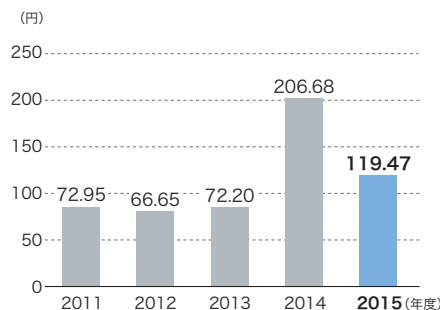
親会社株主に帰属する当期純利益

上記要因に加え、前年に計上した賃貸用不動産の売却に伴う特別利益がなくなったことや、税効果会計の影響による税金費用の増加もあり、減益となりました。

■ 営業利益率・当期純利益率



■ 1株当たり当期純利益



キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2015年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	2014年度 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,241	58,021	△ 8,780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 215,091	△ 15,326	△ 199,765
財務活動によるキャッシュ・フロー	134,317	△ 18,451	152,768
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6,708	8,553	△ 15,261
現金及び現金同等物の増減額	△ 38,241	32,797	△ 71,039
現金及び現金同等物期首残高	104,732	68,934	35,797
新規連結・合併による現金増加	198	2,999	△ 2,801
現金及び現金同等物期末残高	66,690	104,732	△ 38,042

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益は493億円となり、減価償却費などの非資金損益の調整のほか、たな卸資産の増加などによる資金増減や法人税等の支払などを差し引いた結果、492億円の収入となりました。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,864億円、有形固定資産の取得による支出320億円、無形固定資産の取得による支出69億円などにより、2,150億円の支出となりました。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入1,094億円、社債の発行による収入414億円、長期借入金の返済による支出102億円などにより、1,343億円の収入となりました。

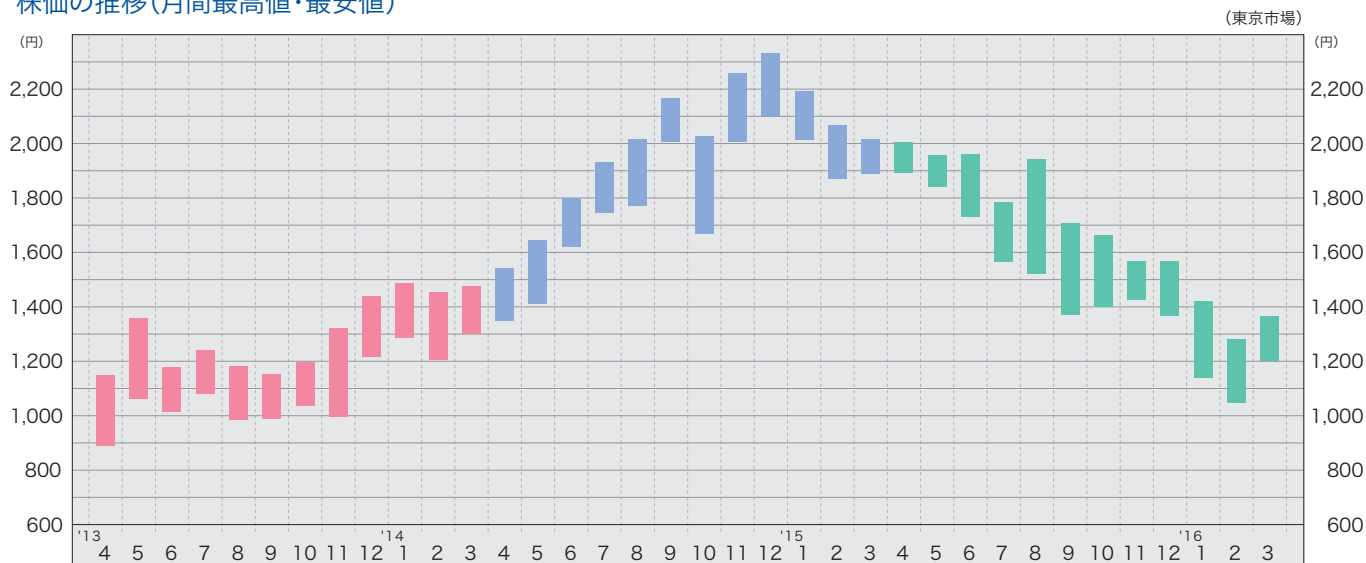
株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

(2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	株 主 資 本					評価・換算 差額等	新株 予約権	非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
前期末残高	19,209	16,695	314,892	△ 24,224	326,573	23,589	615	16,505	367,284
当連結会計期間中の変動額	—	0	22,438	△ 0	22,437	△ 50,454	120	334	△ 27,561
剰余金の配当	—	—	△ 8,579	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	31,017	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得/処分	—	0	—	△ 0	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	△ 50,454	120	334	△ 49,999
当期末残高	19,209	16,696	337,330	△ 24,225	349,011	△ 26,864	736	16,839	339,722

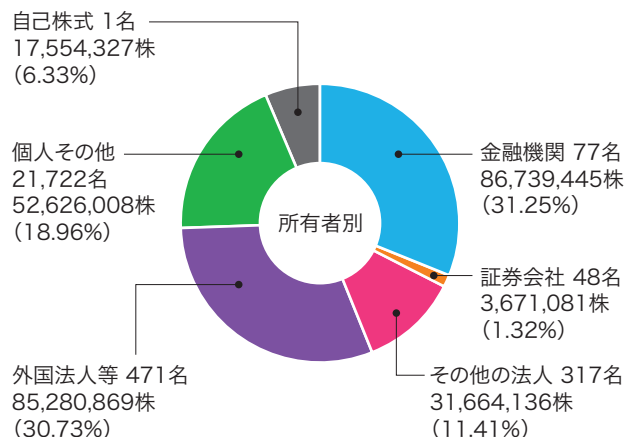
株式の状況

株価の推移(月間最高値・最安値)



株式の分布状況 (2016年3月31日現在)

- 発行可能株式総数……………600,000,000株
- 発行済株式総数……………277,535,866株
- 株主総数……………22,636名



大株主 (上位10名)

(2016年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY※	14,810	5.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)※	12,038	4.34
日本生命保険相互会社	11,798	4.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)※	10,976	3.95
株式会社三井住友銀行	7,398	2.67
CBNY-ORBIS SICAV※	5,731	2.07
ブラザーグループ従業員持株会	4,582	1.65
住友生命保険相互会社	4,499	1.62
朝日実業株式会社	4,000	1.44
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,796	1.37

- 注1：持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 注2：持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しています。
 注3：※印のある株主の所有株式は、全て当該各社の信託業務にかかる株式です。
 注4：上記のほか、自己株式が17,554千株(持株比率6.33%)あります。

会社の概要

基本データ (2016年3月31日現在)

商号 ブラザー工業株式会社
(BROTHER INDUSTRIES, LTD.)
本社 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561
TEL : 052-824-2511 (代表)
設立 1934年1月15日

資本金 192億9百万円
上場証券取引所 東証1部、名証1部
従業員※ 連結：36,307名 単独：3,887名 ※正社員のみ
グループ会社 連結子会社114社、持分法適用会社8社
(日本21社、米州16社、欧州45社、
アジアその他40社)

役員 (2016年4月1日現在)

[取締役]

代表取締役社長	小池利和
代表取締役 専務執行役員	石川茂樹
代表取締役	長谷川友之
取締役 常務執行役員	神谷純
	佐々木一郎
	石黒雅
社外取締役	平野幸久
	西條温
	服部重彦
	深谷紘一
	松野聡一

[監査役]

監査役(常勤)	成田正人
	高次正樹
社外監査役	海野隆雄
	丸山弘昭
	有田知徳

[執行役員]

常務執行役員	浅井侯序
	石川博
	松本勇美夫
	亀之内孝文
	川那辺祐
執行役員	鈴木雅彦
	服部親将
	若原宏之
	久野光康
	武田進
	星真
	野地勲
	桑原悟
	村上泰三
	鈴木剛
小出哲郎	
グループ常務執行役員	ナイジェル ボンド
グループ執行役員	三輪祐司
	只雄一
	池田和史
	三島勉

株主メモ

事業年度…………… 4月1日～翌年 3月31日
定時株主総会…………… 毎年 6月
期末配当金受領株主確定日…………… 3月31日
第2四半期末配当金受領株主確定日…………… 9月30日
基準日…………… 3月31日
公告掲載URL …… <http://www.brother.co.jp/investor/>
※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に公告します。

■ 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂7丁目10番11号 〒137-8081
TEL:0120-232-711(通話料無料)

※株主さまの住所変更その他各種お手続きにつきましては、株主さまご自身が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にて承りますので、詳細は各口座管理機関へお問い合わせください。

※特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

アンケートご協力をお願い

本年度も引き続き株主アンケートを実施いたします。期日までに同封のアンケートはがきにご記入の上、返信いただいた方の中から抽選で2名様に『ペアお食事券(¥20,000相当)』、30名様に『図書カード(¥2,000)』を進呈いたします。

※当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

ブラザー工業株式会社

本社 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561



環境に優しい
「水なし印刷」を
採用。
大気中に
揮発性有機物を
排出しません。

VOC
FREE

インキの石油系溶剤を
大豆油主体とした
植物系溶剤に
100%置き換え、
VOC(揮発性有機化合物)
フリーとしました。



展示館・ショールームのご案内

展示館 ブラザーコミュニケーションスペース



ブラザーグループの展示館として、モノ創りの歴史と製品のご紹介をしています。どなたでも、お気軽に予約なしでご来館いただけます。ぜひ、お越しください。

<http://www.brother.co.jp/bcs/>

名古屋市瑞穂区塩入町5番15号 〒467-0851
TEL : 052-824-2227

ブラザー東京ショールーム



ホームからオフィスまで、さまざまなブラザー製品を体験できるスペースです。ブラザー製品をすでにお使いのお客様のご相談の場として、これからブラザー製品をお買い求めになるお客様のご検討の場として、ブラザー製品を心ゆくまで体験いただけます。

<http://www.brother.co.jp/tokyo-showroom/index.htm>

東京都中央区京橋3丁目3番8号 〒104-0031
TEL : 03-3281-1125